



学校だよい「あ・は・も」

～「あいさつ・はっぴょう・もくひょう」が自慢の塩川小学校～

令和元年6月13日（木）発行 No.12

文責 塩川小学校長 佐藤 寅記



あいさつの意味 ～「あ・は・も」のあいさつ～

お昼の放送で、「あいさつ」についての体験や、目標について書いた作文の発表がありました。

- 私は、あいさつの目標があります。それは、「名前を付けてあいさつ」することです。（中略）今年は、**私たちが最高学年になり、お手本となる番です。**私が素敵なあいさつをすることで、下級生も頑張ってくれるかもしれません。学校の顔である私たちが、先生はもちろん、地域の人たちにもよいあいさつができるように頑張ります（6年W.H）
- 4月で頑張ったことは、『名前を付けてさわやかあいさつ』を目標としてきました。これを続けてきてよかった点は、自然と自分も相手も笑顔になってきたことです。もっと頑張ればよかったところは、大きな声であいさつすればよかったと思いました。これからは、これを意識して頑張ります（6年T.H）。あいさつの意味を考えたり、あいさつの仕方を振り返る活動を通して、あいさつが自慢の素敵な子ども、学校に高めてまいります。



お昼の放送で発表する

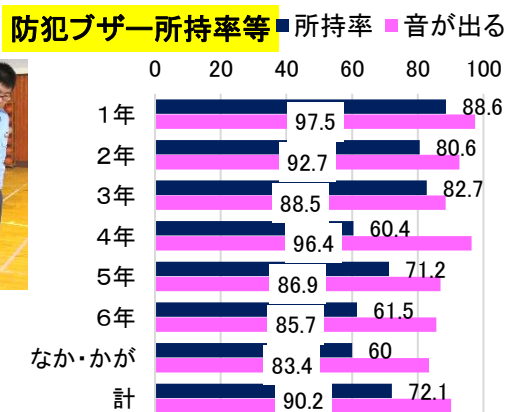


道路に出てあいさつ運動！

自分の命は自分で守る～不審者対応防犯教室～



防犯ブザーの正しい方を学ぶ



不審者が学校に侵入してきたという想定で、子ども達の避難の仕方と、学校の対応について訓練しました。子どもが自分で自分の命を守るためには、「防犯ブザー」が効果的であると、喜多方警察署の指導で、ブザーをどこに付けたらよいか、ブザーをどのようなときに鳴らすかを学びました。

最近、田村市で、ブザーを身に付けていたお陰で、命を守ると共に犯人逮捕に至った事案がありました。本校の防犯ブザー所持率は72%です。全員が身に付け、自分の命を守れるようにしたいものです。

ちょっといい話！ No.3

6月にしては肌寒い校庭で、黙々と草をむしる子どもたち。お昼休みが終わり、縦割り班での清掃の時間です。終了の時間になると6年生の班長（Rさん）が当たり前のように、みんながむしった草をバケツに集めてくれています。「Rさんは班長だから、バケツは誰かに頼んでみんなを並ばせてあげた方がいいよ。」そんな声をかけると、5年生のWくんがバケツを持ってくれました。「だれか、草むき機を集めて、洗ってくれないかな？」そんな声には、6年生のTくんが、「僕が洗います！」の声。相手の立場を考えて、行動に移す6年生の姿がそこにはありました。校庭には、室内の放送があまり聞こえません。校舎内担当の清掃班が、そくそくと教室に戻る中、一人一人が清掃の反省を発表し、「ごくろうさまでした。」のあいさつをしっかりと、教室に戻っていきました。

すてきな清掃班を見て、心がほっこりと温くなりました。「ごくろうさまでした！」



おめでとうございます

- ① 第77回全日本学生児童発明くふう展
奨励賞 2年 真渡 心優里「ぶんべつ てぶくろ」
※昨年度出品した発明工夫展の作品が全国コンクールで入賞
- ② 第35回全会津小学生陸上競技交流大会
第7位 男女混合4×100mR 塩川小学校 A
(中川 奏、鈴木なつめ、加藤実優、中森一心)
※7月の県大会へ出場します。